

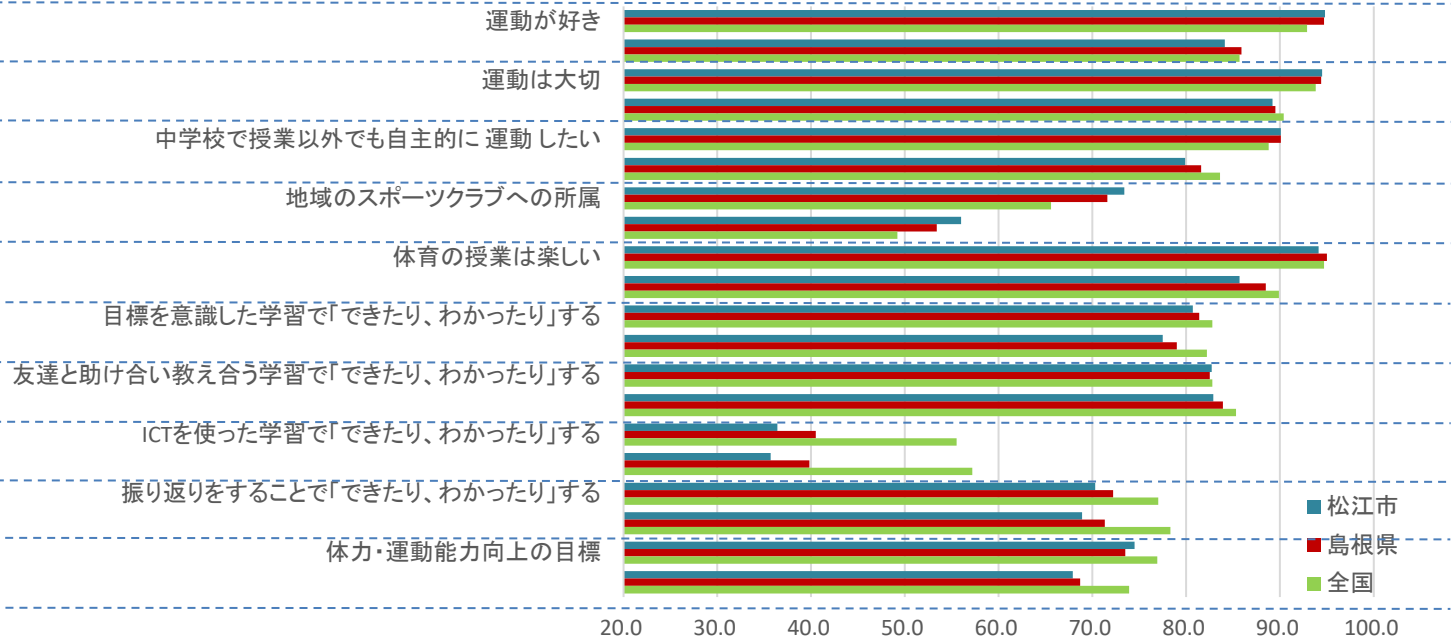
令和5年度 体力・運動能力調査結果及び分析・対策(松江市・小学校及び義務教育学校前期全体) 令和5年3月29日

(1)【前年度との比較】松江市立小学校及び義務教育学校児童の体力の現状

前年度の松江市と比較した概要(前年度の平均を1とした場合の今年度の達成率を表したもの)										
男子			握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
	学年	人数	筋力	筋持久力	柔軟性	敏捷性	全身持久力	スピード	筋パワー	巧緻性
	小1	736	0.984	0.948	0.989	1.027	0.995	0.982	0.984	1.042
	小2	835	1.006	0.954	1.040	0.984	0.977	0.999	1.014	1.021
	小3	789	0.985	1.033	1.005	1.040	1.055	0.984	1.006	1.049
	小4	738	0.987	0.972	0.980	0.969	0.981	1.010	0.989	0.967
	小5	821	1.009	1.024	1.003	1.061	1.036	1.017	1.001	1.044
	小6	754	0.999	1.025	1.020	0.993	1.009	1.016	0.997	1.018
◎「ボール投げ(巧緻性)」は前年度を上回っている学年が多い。 ○「握力(筋力)」 「長座体前屈(柔軟性)」 「50m走(スピード)」 「立ち幅跳び(筋パワー)」については前年度とほぼ同水準(0.980以上)。 △4年生は「50m走(スピード)」以外、前年度より低下している。										
女子	小1	710	0.978	1.033	1.001	1.001	0.960	0.979	0.976	1.015
	小2	786	1.003	0.945	1.037	0.966	0.969	1.005	1.006	1.031
	小3	689	0.947	1.022	0.991	1.053	0.960	0.991	1.002	0.977
	小4	763	0.992	0.965	0.988	0.983	0.963	1.010	0.997	1.000
	小5	751	0.994	0.991	1.013	1.030	1.033	1.005	0.985	1.040
	小6	683	1.027	1.044	1.011	1.013	0.997	1.000	0.988	0.977
	◎「長座体前屈(柔軟性)」 「50m走(スピード)」については前年度とほぼ同水準。 △4年生は4項目で、前年度より低下している。 △「シャトルラン(全身持久力)」は1～4年生で前回より大きく減少している。									

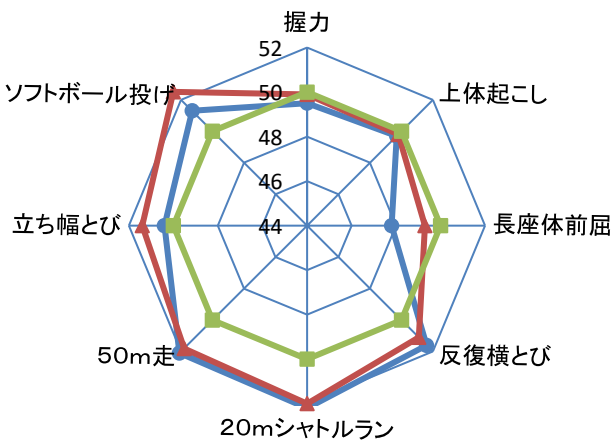
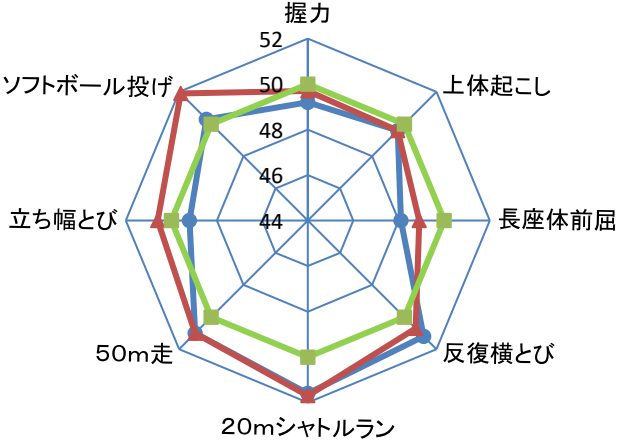
評価指数
1.030以上
1.000以上
0.990以上
0.970以上
0.950以上
0.950未満

(4) 松江市立小学校及び義務教育学校5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査 意識調査の結果 項目 上段:男子 下段:女子



(2)【R5全国及び島根県との比較】松江市立小学校及び義務教育学校5年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)

小・義5男子 ●松江市 ▲島根県 ▲全国 小・義5女子 ●松江市 ▲島根県 ▲全国



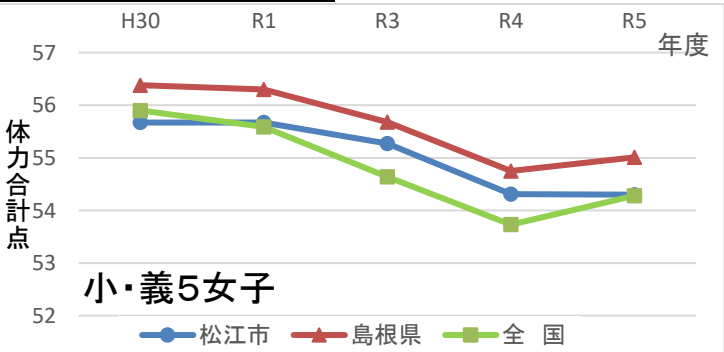
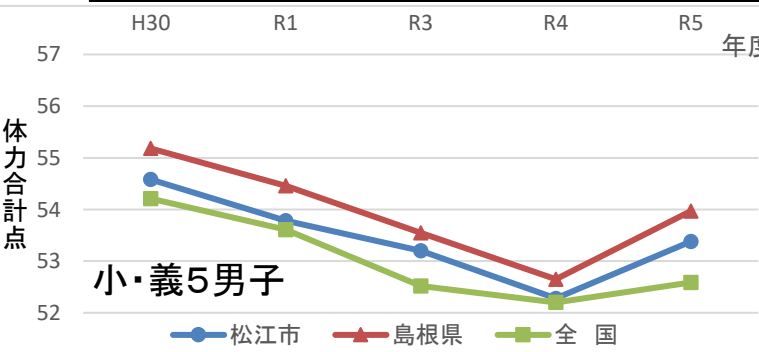
小・義5男子	◎「反復横跳び(敏捷性)」は全国及び県を上回っている。 ○「シャトルラン(全身持久力)」 「50m走(スピード)」は県と同水準で全国より高い。 ▲「握力(筋力)」 「上体起こし(筋持久力)」 「長座体前屈(柔軟性)」 「立ち幅跳び(筋パワー)」は全国を下回っている。
小・義5女子	◎「反復横跳び(敏捷性)」は全国及び県を上回っている。 ○「シャトルラン(全身持久力)」 「50m走(スピード)」全国を上回り県と同水準。「立ち幅跳び(筋パワー)」 「ボール投げ(巧緻性)」は県を下回るが全国は上回る。 ▲「握力(筋力)」 「長座体前屈(柔軟性)」 「反復横跳び(敏捷性)」は全国及び県を下回っている。

(3) 松江市立小学校及び義務教育学校5年生 全国体力・運動能力調査 体力合計点の推移(過去5年間まで)

小・義5男子	H30	R1	R3	R4	R5
松江市	54.58	53.78	53.2	52.28	53.38
島根県	55.18	54.46	53.55	52.65	53.97
全国	54.21	53.61	52.52	52.2	52.59
小・義5女子	H30	R1	R3	R4	R5
松江市	55.67	55.67	55.27	54.31	54.30
島根県	56.38	56.30	55.68	54.75	55.01
全国	55.90	55.59	54.64	53.73	54.28

※体力合計点とは、男女別種目別得点表により8種目合計得点を表したものです。

令和2年度は中止



(5) 松江市立小学校及び義務教育学校児童の意識・実態調査から見られた傾向

全国や県平均と比較した概要	
男子	義5小5 ◎「運動が好き」「運動は大切」「自主的に運動したい」「体育の授業は楽しい」について、肯定的回答が90%を超えている。 ▲授業の中でわかったりできたりする項目について、肯定的な回答が全国・県と比べて低く、ICT活用については特に低い。 他学年 ・「ほとんど運動をしない(週1回以下)」の割合が学年が上がると共に減少するが、6年生時に微増している。 ・「朝食を毎日とる」の割合は全学年とも90%を超えている。最大1年生95.79%である。 ・「睡眠時間が8時間未満」の割合は高学年に向かうにつれ増えている。5年生19.94%、6年生22.25%。
女子	義5小5 ◎「運動は大切」について肯定的回答が90%に迫っている。 ▲授業の中でわかったりできたりする項目について、肯定的な回答が全国・県と比べて低く、ICT活用については特に低い。 他学年 ・「ほとんど運動をしない(週1回以下)」の割合が学年が上がると共に減少するが、5・6年生時に微増している。 ・「朝食を毎日とる」の割合は全学年ともほぼ90%を超えている。最大1年生97.61%。 ・「睡眠時間が8時間未満」の割合は高学年に向かうにつれ増えている。5年生19.12%、6年生29.11%。

(6) 主な課題及び今後の取組の視点

主な課題
・近年、体力合計点が低下傾向にあったが、男子は上昇、女子は横ばい(県・全国は上昇)であり、女子の体力向上への対策が必要。 ・全国や県と比べ「握力(筋力)」 「長座体前屈(柔軟性)」 「男子の立ち幅跳び(筋パワー)」が低く、対策が必要。 ・意識面では、運動の楽しさ、大切さを感じていながらも、自発的に運動することについては、他項目に比べて低く、中学生になるとさらに低下(主に女子)することや幼児期の運動能力の低下が進んでいることから小学生期の運動の習慣化を図る必要がある。 ・授業の工夫によりできたり、わかったりする項目が全体的に県や全国よりも低く、個別最適な学び、協働的な学びの視点をもった授業改善が必要。 ・タブレット等ICT機器の活用方法は領域の特性に合わせて行うことで「わかる、できる」につながるため、具体的な活用方法等の情報提供が必要。 ・5月に行われていた陸上大会中止に続き、表現運動発表会の参加校減少等、さらなる体力低下が予想される。各校で体力向上の活動の工夫が必要。
今後の取組の視点
1. 具体目標の設定 ○学校教育活動としての全体での体力づくり推進 ・年度始め:入力シートを活用した課題の把握及び体力向上推進計画による各校の実態に応じた達成(数値)目標を設定 ・年度途中:2・3学期の具体的な改善策 ・年度終り:公表シートによる達成度の把握及び体力向上推進計画による次年度の計画(4月からの取組) ○児童自身が体力の現状を把握 ・入力シート(個票)の活用による体力調査結果の把握(児童自身が目標をもって取り組む) 2. 授業 ○体を動かす時間の十分な確保 ・一部の児童だけでなく、一人一人が運動量を確保できるよう工夫 ・様々な動きの土台となる基礎感覚や基礎技能を養う(各校の重点的に行う内容や継続的に行う活動を整理) ・保幼小接続カリキュラムに基づく「かしこい体」づくりの取組の推進 ○技能差によらない多様な楽しさや充実感を得られる授業の工夫 ・ねらいを明確にした授業の充実 ・一人一人が自分の目標をもって取り組むことができる個別最適な学び ・協働的な学びによる学びの深化 ○運動領域の特性に合わせたICTの活用 3. 「つながり」を生かした取組 ○授業と休み時間のつながり 授業中の達成感や充実感→自発的な取組(休み時間等) ○委員会活動や学校行事、学級活動との「つながり」 人と人とのつながりをいかした取組の工夫 ○地域やプロスポーツ選手等との「つながり」 「夢の教室」「あすチャレ!スクール」「スサノオマジック」等、スポーツ選手学校訪問事業推進 ○松江市小学校体育連盟や松江市教育研究会体育部の「つながり」 4. 体力向上推進計画に基づく指導主事による学校訪問 ○各校の目指す子どもの姿及び研究の方向性をもとにした指導助言